

ビルクリーニング 競技課題

禁止事項

1. 競技時間中に他人から指導や助言を受けてはいけません。
2. 他の選手やスタッフの妨害をしてはいけません。
3. 競技時間に遅刻、及び競技時間中に許可なく席を離れてはいけません。
4. 故意に備品や機材等を毀損させてはいけません。
5. その他、大会運営や競技実施に支障を来す恐れがある行為等をしてはいけません。

一般的な注意事項

[共通]

1. 課題は、課題1「カーペット床清掃」と課題2「弾性床清掃及び机上清掃」の2課題です。また、競技は、課題1の「カーペット床清掃」、課題2の「弾性床清掃及び机上清掃」の順番で行います。課題1と課題2の間には休憩時間を設けます。
2. どちらの課題も、作業面積は、16m²(4m×4m)とし、幅木による区画とし、幅木の上には、壁があるものとして作業を行ってください。
3. 作業場所にある机は、移動させないでください。
4. 2課題とも次の規定時間が定められています。
① 課題1 7分 で打ち切り ② 課題2 10分 で打ち切り
尚、両課題とも残り時間が少なくなったところでアナウンスします。
① 課題1 2分 ② 課題2 3分
また、規定時間を超えたところで打ち切りとします。打ち切りとなった競技者は、競技委員の指示に従ってください。
5. 各課題とも作業開始の指示は競技委員が行いません。競技者は、拳手または「はじめます」と申告して、2(A・B)コート同時にスタートしてください。競技が終了したら拳手または「終わりました」と申告してください。また、作業ごとの入退出を行なう際には、会釈(軽く挨拶や礼)をしてください。競技中は上記以外の声は出さないでください。
※ 始めと終わりの申告は、声を出すことが困難な場合は、拳手のみで構いません。
6. 課題において椅子を机の上にあげる際は、安全に配慮した形で上にあげてください。
7. 作業終了後、競技時間を発表します。競技時間の発表は、2コートの両名が終了した段階で各コート順次発表しますので、先に作業を終了した競技者は、スタートラインに戻り、もう一方の競技者が終了するまで、そのまま待機してください。
8. 両競技では、支給された資機材以外は使用できません。
9. 使用した資機材は、競技委員の指示に従って後片付けを行ってください。
10. 競技の採点は、作業準備・作業動作(手順)・仕様誤り・作業態度・作業時間の5つの面から審査し、減点方式により行います。
11. 競技者は、本競技に適した服装をしてください。また、適宜熱中症対策を行ってください。

[課題1：カーペット床清掃]

1. 床の材質は、繊維系の床面とします。
2. 作業は、掃除機によるカーペット床の除塵作業です。
3. 床のゴミは、「シュレッダーで裁断した紙」とし、50mℓ程度をまいたものとします。
※競技で使用するポット型掃除機は、掃除機のノズル(ブラシ)の部分から空気の流れを利用してごみを吸引し空気を排気します。

[課題2：弾性床清掃及び机上清掃]

1. 床の材質は、塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。
2. 作業は、床面の除塵・拭き・ごみ処理及び机上拭き作業です。
3. 本課題で使用する資機材・消耗品は、作業用カートに載せてありますので、不足なものがないか点検し使用してください。
4. モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に適切な長さに競技者自身で調節してください。
5. 乾式モップ用のクロスは、競技者が作業前に乾式モップヘッドに取り付けてください。
6. クロスを装着した乾式モップヘッドは作業カート上部、モップの柄は作業カートの所定の位置にそれぞれ競技開始前にセットしてください。
7. 床のゴミは、「おがくず」とし、50mℓ程度をまいたものとします。
※両課題ともごみの量は50mℓ程度を使用しますが、コート全体にごみがあるものと考え競技を行ってください。

【資機材一覧】

1. 競技場に準備されているもの

(1) 課題1

品名	寸法又は規格	数量
作業標示板		1個
真空掃除機	ポット型 リンレイ RD エコ2型	1台
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
イス	パイプ式折りたたみ	1脚
ゴミ箱	角型	1個

(2) 課題2

品名	寸法又は規格	数量
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
作業標示板		1個
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1本
ラグ (モップ房)	260g 白色	1個
小型ぼうき	30 cm幅用	1本
乾式モップヘッド	63 cm	1個
文化ちりとり	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1個
タオル	無地 水拭き用 (青色) 1枚 無地 から拭き用 (白色) 1枚	2枚
ダスタークロス	69 cm幅の不織布	1枚
ビニール袋	ゴミ箱用替袋	1枚
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
イス	パイプ式折りたたみ	1脚
ゴミ箱	角型	1個

2. 選手が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量
作業着 (上・下)		1着
作業帽又は三角巾		1個
作業靴		1足
飲料		必要量

* 持参するものは上記のものに限るが、同一品目のものを予備として持参することは差し支えない。

* 熱中症対策として、飲料を必ず準備すること。

課題1 カーペット床清掃（作業時間：7分）

作業仕様

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	<ul style="list-style-type: none"> 作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 真空掃除機には、ウォンドと吸込口がセットしてある。 作業標示板は既に所定の位置に立ててある。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照すること。 資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。 	資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	競技委員の始めの合図で、所定の位置に立ち、「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手を挙げ、一礼する。	作業開始を申告する。
作業準備	真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードを外し、プラグをコンセントに差し込み、始動点検を行う。	吸込口に手をあて、風量があるか点検する。	
入室の挨拶	入口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼して入室する。	
除塵作業 (真空掃除機)	<ol style="list-style-type: none"> 真空掃除機を使用し、外から入口を除塵し、入室する。 室内での作業手順は、カーペット床作業手順（11ページ）のとおり行う。 ゴミ箱は、持ち上げて除塵する。 前進しながら除塵する。 作業が終了したら掃除機を室内より出してプラグを抜く。 	<ul style="list-style-type: none"> 入口のゴミを踏まないように広めに足場を確保する。 吸込口を床に強く押しつけない。 イスを手前に引き出し、机の下の除塵を行い、元に戻す。 掃除機本体は、手で持って移動する。 プラグを持って抜く。 	<p>ゴミは、シュレッダーで裁断したものを50mℓ程度均等にまいてある。</p> <p>掃除機のコードを持って抜かない。</p>

きぎょうこうてい 作業工程	きぎょうほうほう 作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
てんけん 点検	ゆびさ また、ちくしてんけん おこな 指差し又は目視点検を行う。	しきざい ちど わす 資機材の戻し忘れ、ゴミ の取り残しがないか と のこ てんけん 点検する。	こゑ 声をださないこ と。
たいしつ あいさつ 退室の挨拶	でぐち しつない せ 出口にて、室内に向かって退室の あいさつ おこな 挨拶を行う。	しつれい 「失礼しました」等と いちれい たいしつ 一礼して退室する。	
しきざい かたづ 資機材の片付 け	しんくう そうじき 真空掃除機のコードを巻き、真空 そうじき ほかんばしょ ちど 掃除機を保管場所に戻す。		
しゅうりょう あいさつ 終了の挨拶	しよてい いち た しゅうりょう あいさつ 所定の位置に立ち、終了の挨拶を おこな 行う。	お 「終わりました」等の い しひょうじ おこな 意思表示を行う。	きぎょうしゅうりょう 作業終了を しんこく 申告する。

課題2 弾性床清掃及び机上清掃（作業時間：10分）

作業仕様（課題2-1）

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	<ul style="list-style-type: none"> 作業に必要な資機材（タオル・モップ等）は、すでに作業カート（以下カート）上部に準備されている。 ① ワンタッチモップ柄（以下柄）の長さを調整し、カートの所定の場所にセットする。 ② ダスタークロスを乾式モップヘッド（以下ヘッド）に装着し、カート上部に置く。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な資機材及び数量は、資機材一覧を参照すること。 資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。 	資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、競技委員の始めの合図で「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手を挙げ、一礼する。	作業開始を申告する。
作業準備	作業用カート（以下カート）を保管場所から作業場所の近くへ移動し、作業標示板を立てる。		
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼して入室する。	
イス上げとゴミ処理 (1) イスを上げる (2) ゴミの回収 (3) ゴミ袋のセット	<ul style="list-style-type: none"> ① 作業前にイスを机上に上げる。 ② ゴミ箱にセットされているビニール袋を回収する。 ③ 回収したビニール袋をカートの袋の中に入れる。 ④ ビニール袋の替袋を取り出し、ゴミ箱にセットする。 ⑤ ゴミ箱を机上に上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 机は動かさない。 イスは机からはみ出さないように正しくのせる。 ビニール袋を正しくセットする。 ゴミ箱は机からはみ出さないように正しくのせる。 	

<small>さぎょうこうてい</small> 作業工程	<small>さぎょうほうほう</small> 作業方法	<small>ほそくじこう</small> 補足事項	<small>びこう</small> 備考
<small>じよじんさぎょう</small> 除塵作業 <small>かんしき</small> (乾式モップ)	<p>① ダスタークロス<small>そうちやく</small>を装着した乾式モップ<small>かんしき</small>ヘッドは入口<small>いりぐち</small>の養生マツ<small>ようじょう</small>の上でモップ<small>うえ</small>の柄<small>え</small>に取り付ける。</p> <p>② 乾式モップ<small>かんしき</small>で、外<small>と</small>から入口<small>いりぐち</small>を除塵<small>じよじん</small>し、入室<small>にゅうしつ</small>する。</p> <p>③ 室内<small>しつない</small>での作業手順<small>さぎょうてしゅん</small>は、乾式モップ作業手順<small>かんしき</small>(12ページの通り<small>とあ おこな</small>行う。</p> <p>④ ゴミは前進<small>ぜんしん</small>しながら出口<small>でぐち</small>に向かって1箇所<small>かしょ あつ</small>に集める。</p> <p>⑤ ヘッドを柄<small>え</small>から外<small>はず</small>す。</p> <p>⑥ 使用済み<small>しようま</small>のダスタークロス<small>かんしき</small>をヘッドから外<small>はず</small>し、カート<small>ふくろ なか</small>の袋<small>なか</small>の中に収納<small>しゅうのう</small>する。</p> <p>⑦ 柄<small>え</small>とヘッドをカート<small>もど</small>に戻す。</p> <p>⑧ 小型ぼうき<small>こがた</small>と文化ちりとり<small>ぶんか</small>を使用<small>しよう</small>し、集めたゴミ<small>あつ</small>を回収<small>かいしゅう</small>する。</p> <p>⑨ ゴミの取り残<small>と のこ</small>しがないか点検<small>てんけん</small>する。</p> <p>⑩ 小型ぼうき<small>こがた</small>、文化ちりとり<small>ぶんか</small>をカート<small>もど</small>に戻す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柄<small>え</small>の先端<small>せんたん</small>には親指<small>おやゆび</small>を添<small>そ</small>える。 ・ ヘッドの辺<small>へん</small>は広い方<small>ひろ</small>を先行<small>さき</small>させる。 ・ 入口<small>いりぐち</small>のゴミを踏<small>ふ</small>まないように足場<small>あしば</small>を確保<small>かくほ</small>する。 ・ ヘッドは、床<small>ゆか</small>から離<small>はな</small>さない。 ・ 使用済み<small>しようま</small>ダスタークロスはカート<small>ふくろ</small>の袋<small>なか</small>の中<small>い</small>に入れる。 ・ ごみ<small>と</small>の取り残<small>のこ</small>しがあある場合<small>ばあい</small>は、小型<small>こがた</small>ぼうきと文化ちりとり<small>ぶんか</small>を使用<small>しよう</small>し回収<small>かいしゅう</small>する。 ・ ヘッドは、カート<small>しようふ</small>上部<small>めん</small>に、スポンジ面<small>めん</small>を上<small>うえ</small>にして、邪魔<small>じゃま</small>にならないように置<small>お</small>く。 	<p>ごみは、おがくずを50mℓ程度均等<small>ていときんとう</small>にまいてある。</p> <p>点検<small>てんけん</small>の際<small>さい</small>に声<small>こゑ</small>をださないこと。</p>

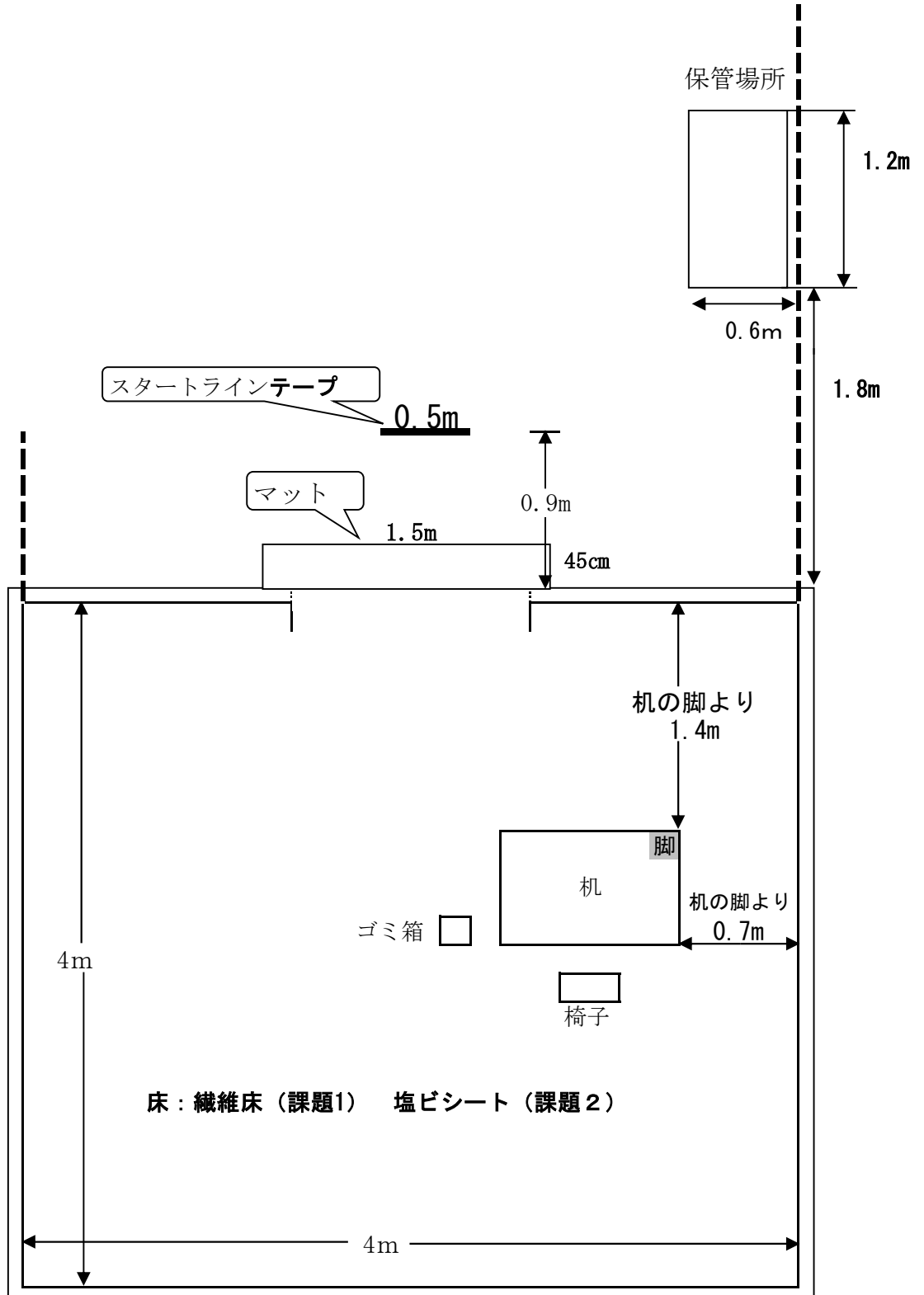
かだい
課題2

さぎょうしやう
作業仕様（課題2-2）

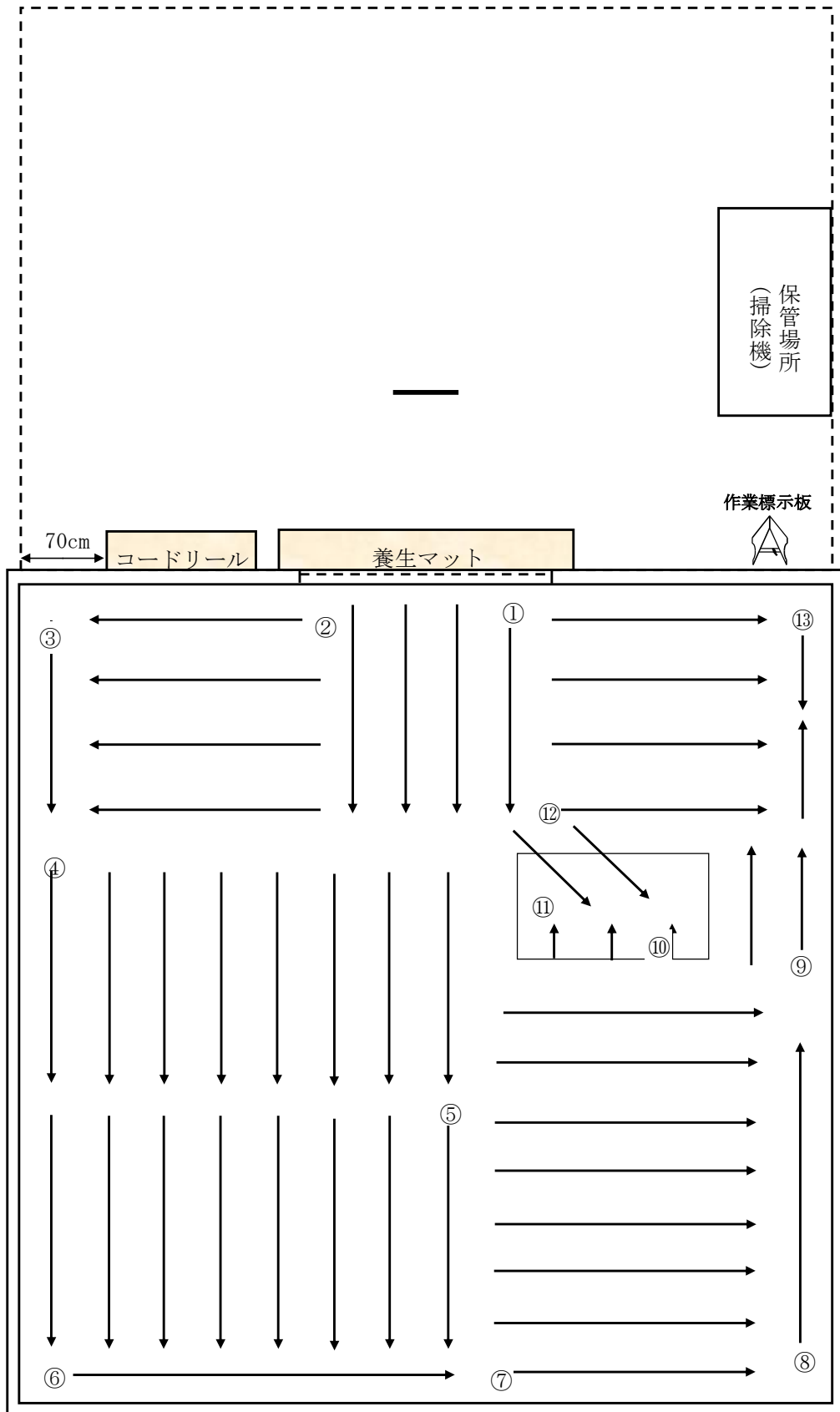
作業工程	作業方法	補足事項	備考
<p>みすら さぎょう 水拭き作業 (モップ)</p>	<p>① コート全体面積を拭く。</p> <p>② 室内での作業手順は、水拭きモップ作業手順（13ページ）のとおり行う。</p> <p>③ コーナー周りとは机の足元は房系に手を添えて拭く。</p> <p>④ モップは適宜裏返し、モップ全体を使って拭く。</p> <p>⑤ モップは横拭きとし、後退しながら拭く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拭き残し、拭きむらのないようにする。 ・ 柄の先端には親指を添える。 ・ 房系が幅木、机の脚部に触れないようにする。 ・ 拭いたところを踏まないようにする。 	
<p>ばこ お ごみ箱とイス下ろし</p>	<p>あんぜん おと た 安全に音を立てないように下ろす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 足の上に落とさないように注意する。 	
<p>きじょう 机上拭き</p>	<p>① 青色のタオルを八折にして持つ。</p> <p>② 机の上を青色のタオルで水拭きした後に、白色のタオルでから拭きを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ タオルが汚れたらきれいな面を出して拭く。 ・ 机の縁を含めて、四隅から中央へと拭く。 ・ 横拭き・縦拭きを行う。 	
<p>てんけん 点検</p>	<p>ゆびさ また もくしてんけん おこな 指差し又は目視点検を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資機材の戻し忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。 	<p>てんけん さい こえ 点検の際に声をださないこと。</p>
<p>たいしつ あいさつ 退室の挨拶</p>	<p>でくち しつない せ 出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。</p>	<p>しつれい 「失礼しました」と一礼して退室する。</p>	

<small>さぎょうこうてい</small> 作業工程	<small>さぎょうほうほう</small> 作業方法	<small>ほそくじこう</small> 補足事項	<small>びこう</small> 備考
<small>しきざい かたづ</small> 資機材の片付け	<small>さぎょうひょうじばん</small> 作業標示板をカートに収納 <small>しゅうのう</small> し、カートを保管場所 <small>ほかんばしょ</small> に戻 <small>もど</small> す。		
<small>しゅうりょう あいさつ</small> 終了の挨拶	<small>しよてい いち た</small> 所定の位置に立ち、 <small>しゅうりょう</small> 終了の <small>あいさつ おこな</small> 挨拶を行う。	<small>お</small> 「終わりました」等の <small>とう</small> 意思表示 <small>いしひょうじ</small> を行う。 <small>おこな</small>	<small>さぎょうしゅうりょう</small> 作業終了を <small>しんかく</small> 申告する。

標準配置図(モデル)

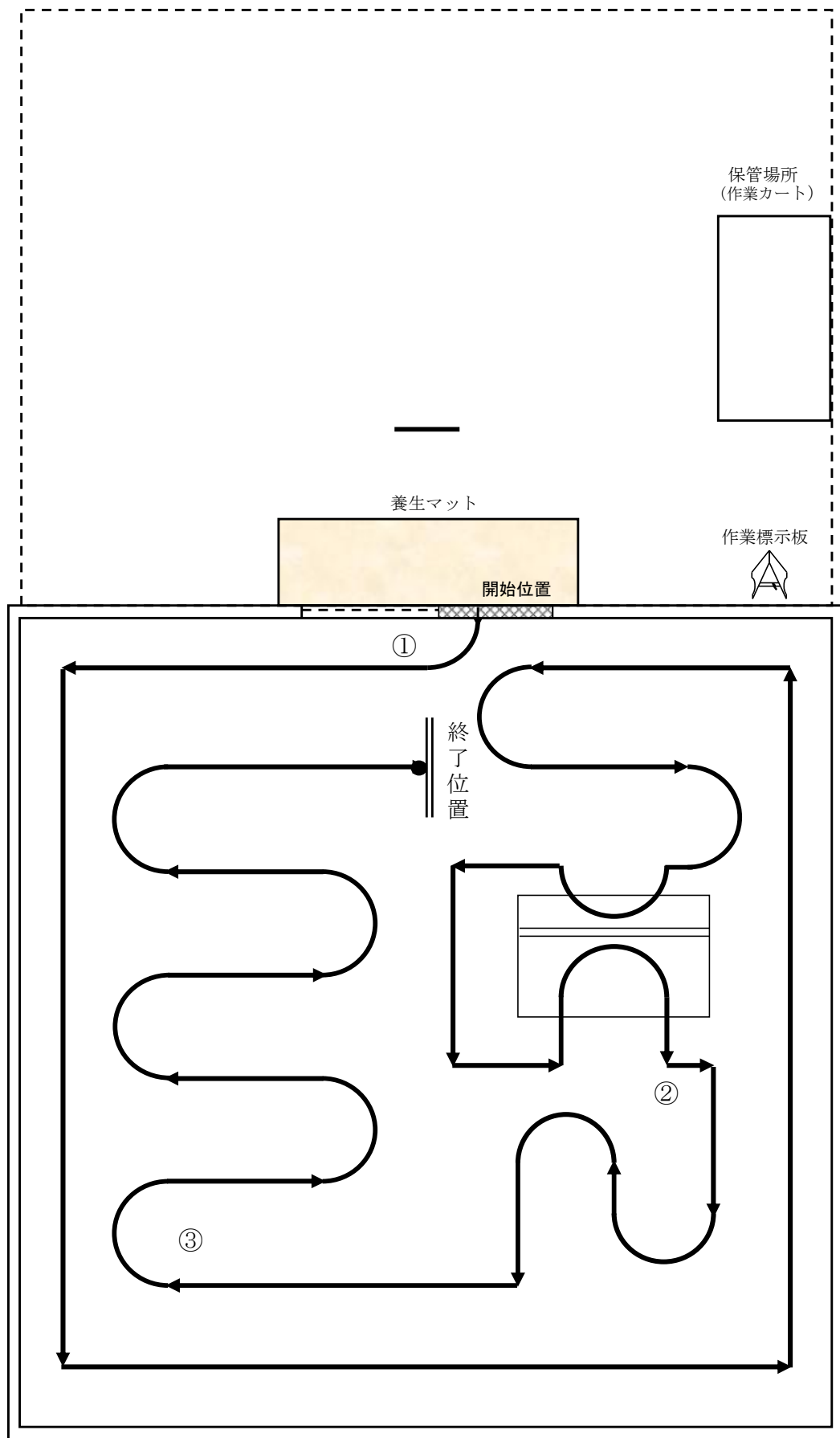


カーペット床作業手順



注：作業の進行①-⑬、吸引回数を入れたものではありません。

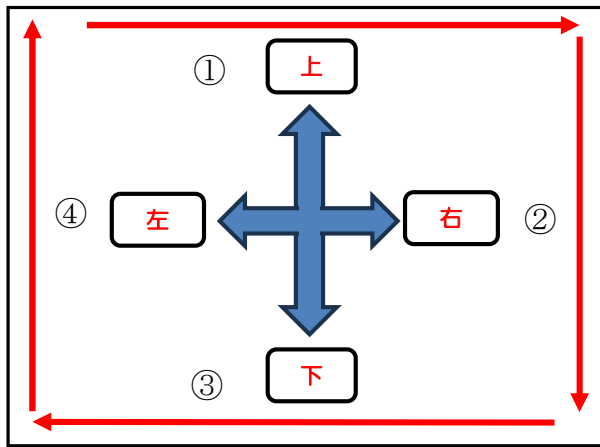
乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

机上拭き作業手順

〈注〉 各図は、いずれもタオルを右手で持つ人の例になります。
左手で持つ人の場合は、左右を逆とした方法でも構いません。



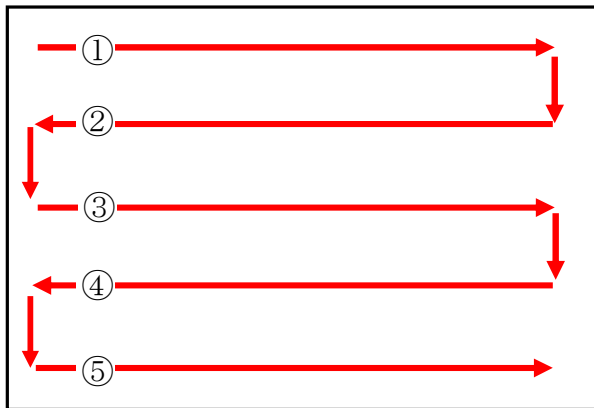
その1. 縁（机の4辺）の作業動線・拭き方

選手は審査委員席に正対し動線図に示された場所に立つ（縦拭き・横拭き）

机の上端の縁を左端から①→②→③→④の順で、机の「縁」を拭く。



作業者の立ち位置
（審査委員席に正対）



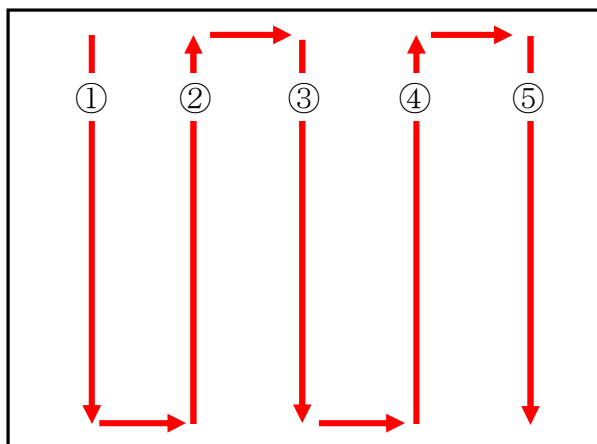
その2. 机中央の作業動線（横拭き）

①～⑤の様に机「中央」を左側から拭き残しやムラの無いように拭く（拭く回数は指定しない）。

※適宜タオルの面を変えながら拭く。



作業者の立ち位置
（審査委員席に正対）



その3. 机中央の作業動線（縦拭き）

①～⑤の様に机「中央」を上端から手前へ縦吹きによる拭き方で拭き残しやムラの無いように拭く（拭く回数は指定しない）。

※適宜タオルの面を変えながら拭く。



作業者の立ち位置
（審査委員席に正対）